

平成23年度 学校自己評価システムシート (県立羽生実業高等学校)

目指す学校像	社会に有為な産業人を育成する。
重点目標	1 学力の定着・向上と進路実績の向上 2 専門高校（農業・商業併置）としての地域に開かれた学校づくりの推進 3 高校生活を充実させるための生徒指導の推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5	名
	生徒	6	名
	事務局(教職員)	13	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	生徒間には学力差が見られる。一方、生徒・保護者の就職をはじめとする進路実現に対する期待は大きい。今後は、より一層、分かる授業の推進により、生徒の学力を定着・向上させ、進路希望の実現、進路実績の向上が求められている。	①分かる授業の推進 ②一人一人の進路希望を実現する進路指導の充実	①授業研究(職員研修会)、授業評価の実施 ②検定対策補習の実施 ③基礎基本的な授業の実施 ④チャイム着席等指導の徹底 ①進路面接指導の実施 ②進路ガイダンス等の実施 ③進路説明会(保護者)の実施	①職員研修会、授業評価を実施したか ②各種検定資格取得者率の前年度比10%増 ③学校評価アンケートでの全教員による実施 ④学校評価アンケートでの生徒の達成度90%以上 ①年間3回以上の実施 ②就職内定率95%以上 ③年間3回以上の実施	①職員研修会は教科内で実施。授業評価は管理職の授業観察や生徒学校評価内で実施。 ②全商・全経とも前年増。合格率計では14.7%増 ③基礎基本的な授業の取組は、教員98%が実施でほぼ達成。 ④「実施・やや実施」の合計が83.9%でほぼ達成。 ①計画を着実に実施(6,8,9月) ②85.1%、1月末現在、前年度及び全県平均を上回る。 ③計画を着実に実施(6,7,11月)	B	・生徒の苦手意識等は概要を把握。授業評価については、生徒の学習習慣の定着と授業の工夫改善を内容として取り組むことが必要。 ・小テスト、10分間読書などの取組成果の共有を含む学力差に関する職員研修会を実施することが必要。 ・進路指導充実のため、保護者対象説明会の参加者増に向け工夫することが必要。 ・進路意識向上に向け1年次からの指導の充実が必要。
2	県内唯一の農業と商業を併設する伝統校として、地域に根ざした教育活動を展開してきた。今後は、少子化の中、中学生(小学生)、保護者、地域に対し、本校の特色ある教育活動への理解を深めるとともに、地域から信頼される学校づくりをより一層推進していくことが求められている。	①農業・商業による地域関係機関との連携事業の実施 ②魅力ある教育活動の発信	①羽生市教育委員会と連携した合同出前授業の実施 ②専門高校チームによる中学生キャリア教育支援事業の実施(加須市・行田市) ③「農業カルチャー講座」等の地域公開講座の実施 ①授業公開の実施 ②体験入学・学校説明会の実施 ③羽実だよりの発行、学校HP内容の充実	①市内3中学校での実施 ②加須・行田で計3回実施 ③年間10講座以上の実施 ①授業公開の2回実施 ②体験入学・学校説明会等の5回以上の実施と募集定員の確保 ③羽実だよりの定期発行とHP更新100回以上	①「学びあい夢プロジェクト」として計画を着実に実施(7月)。 ②行田市(長野)、加須市(加須西、騎西)計3中学校で実施し、キャリア教育を支援。 ③11講座実施。計122名が受講。 ①授業公開週間(6,11月)を実施。中学校、学習塾に案内。 ②体験入学3回、学校説明会5回を実施、全教員で対応。募集倍率0.89倍。 ③羽実だより5回発行。HPは「農場だより」の新設を含む、131回更新	A	・「出前授業、羽実屋、羽実まなびや」を通じ専門学科の魅力について一層のアピールが必要。 ・本校の教育力や施設設備を地域に還元するため地域公開講座を積極的に開催することが必要。 ・PTA等との連携充実を図り開かれた学校づくりを一層推進することが必要。 ・HPの充実や更新増により、専門高校としての魅力を発信し、利用者を増加することが必要。
3	地域産業を支える人材育成に対する地域の期待は大きく、整容をはじめ生徒の行動は地域から評価されている。今後とも、規律ある態度と豊かな心の育成により、自ら将来の生き方を見つめることのできる生徒を育てることが求められている。	①規律ある態度と豊かな心の育成 ②自主性を養う特別活動の充実(HR活動、部活動など)	①頭髪服装・遅刻指導の徹底 ②交通事故防止の徹底 ③インターンシップの実施 ④スクールカウンセラーの活用及び教育相談体制の充実 ①学校農業クラブや部活動の充実 ②清掃活動(美化活動)の徹底	①遅刻者の前年度比減 ②全校での交通安全教育の年2回以上の実施 ③実施後アンケートの生徒満足度90%以上 ④スクールカウンセラー活用の年5回以上の呼掛け ①表彰機会、上級大会出場、地域貢献活動等の増加 ②学校評価アンケートの生徒の活動参加度90%以上	①年間5回の整容指導を実施。遅刻者は17.9%減で達成。 ②計画を着実に実施(6,12月)。交通安全優良校表彰(9月)。生徒の事故は前年度比5件減。 ③「充実していた」合計は87.1%でほぼ達成。 ④生徒・保護者へ教育相談を5回呼び掛けた。 ①陸上:ハンマー投、フラワーデザイン競技会で全国大会出場。全校集会、校長葉書で表彰機会増。年8回の地域貢献活動実施。 ②「参加・やや参加」計83.4%でほぼ達成。	A	・「羽実生規律アップ努力目標」の着実な実施が必要。 ・防災意識向上のため、避難訓練の工夫改善や「防災マニュアル」の周知が必要。 ・スクールカウンセラーの他、「学校生活アンケート」(学期毎)を活用した相談体制を確立することが必要。 ・自主性を養い学ぶ意欲を高めるため、地域貢献活動を推進していくことが必要。 ・美化活動については、委員会活動を含む美化意識の徹底が必要。

学校関係者評価
実施日 平成24年2月10日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートの「苦手意識調査」を実施したのは評価できる。今後も、生徒個々の学力差に応じた指導の工夫改善に取り組んでほしい。 今年度、就職率がアップしたことは、素晴らしい成果である。今後も状況を分析し取組を充実させてほしい。 「10分間読書」は大変よい取組である。加えて、短い文章を書く力を身に付けさせるなど、「10分間読書」を発展させてほしい。 オンラインショッピングの立ち上げは評価できる。今後は、ニーズがあるので頑張ってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 中学校では出前授業の評判が良い。中学生は普通科目しか学んでいないので興味が高いし、学校PRにも効果がある。今後も可能な限り、中学生に専門高校の授業を体験させてほしい。 体験入学の増加は羽生実業高校のことを知るのに効果があったと感じている。今後、少子化で生徒募集が困難になることから、中学生に授業体験をさせることが重要になる。中学生やその保護者が専門高校のことをより良く理解できるように、内容の工夫改善が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 遅刻が減ったことは特に評価できる。今後も継続した取組を期待している。 ほめる機会を増やすための、校長葉書の取組は評価できる。今後も、生徒の学ぶ意欲が高まるような取組を増やしてほしい。 今後も地域のイベントに沢山参加し、生徒が地域で学ぶ場を設けてほしい。 「防災意識の向上」については、巨大地震発生の確率が高いという報告もあり、学校として、生徒を守る姿勢を打ち出し、安心安全な学校を作ってもらいたい。